

ようこそ工学部へ

工学研究院長（工学府長・工学部長） 芹川 聖一



はじめに

九州工業大学工学部に入学した新入生・編入生の皆さん、ならびに大学院工学府に入学した新入生の皆さん、そして保護者の皆様、ご入学を心からお喜び申し上げます。

本学の起源は、明治42年（1909年）4月まで遡ります。筑豊御三家と呼ばれた財閥の一つである安川家の創始者・安川敬一郎氏が巨額の私財を投じて、本学の前身である「私立明治専門学校」を設立しました。わが国の工業化推進の中核的人材を養成することを目的として、北九州工業地帯に日本初の物理学者である

山川健次郎先生を総裁として開校し、建学の理念を「技術に堪能なる士君子」としました。

本学の理念と現在の状況

この理念を現代風に言い替えると「グローバル社会で活躍できる高度な技術と創造性を有し、品行が正しく、礼儀に厚く、学徳の高い社会人」を養成するということとなります。その理念は現在も脈々と生きています。この建学の精神を受け継ぐ多くの先輩方が、この学び舎から世界に向けて巣立ち、様々な分野でグローバルに活躍しています。

現在、ロボットや人工知能が人間に代わっているような仕事をするようになりつつあります。将来は、家庭オフィス、あらゆる職場に人工知能を組み込んだロボットが浸透し、人々の仕事を脅かしていくことでしょう。また、経済・産業界は、グローバル化が急速に進んでいます。

発展途上にある国の中でも人口大国である国々の経済発展は目覚ましいものがあります。一方、日本は少子高齢化の進む中、労働者人口は減少し続けています。このような厳しい状況の中で皆さんが将来の日本を支えていく必要があります。そのためには、大学で何を学べばよいのでしょうか。

大学で何を学ぶべきか

大学の授業は大きく分けると教養教育と専門教育に分類できます。技術者としての倫理観や品位、世界人になるための素養は教養教育で培われます。高度技術者としての能力と独創性は、専門教育で養われます。特に1年生、2年生の授業は、各学科の基礎科目が揃っており、とても重要です。予習・復習を十分に行ってください。しかし、これらの授業は勉強のきっかけを与えるだけに過ぎません。大切なのは皆さん自身が自律的・主体的に生涯学び続けることです。高校時代は、公式を暗記して問題を解いていた人がいるかも知れませんが、社会に出たら、公式に当てはまらない問題や答えがたくさ

んある問題が出てきます。決まった式に当てはめて問題を解いたり、大量のデータを暗記したり処理することとは人工知能が最も得意とすることです。大切なのは、公式を暗記するのではなく、その公式がどのようにして成り立っているのか、それが何に活用できるのか、別の方法がないのか、自分で考えることが重要です。その中で、論理的思考力、基礎学力を身に付けてください。また、課題発見力、課題解決力を身につけるための実験、演習科目や、海外留学の機会を用意しています。これらを活用してぜひ自分の能力を高めてください。

さらに卒業後も自己成長するためには、九州工業大学後援組織「明専会」に参加することも大切です。人的ネットワークを介して諸先輩方と同様に様々な分野で活躍できることでしょう。

おわりに

皆さんが本学での学びにより、「技術に堪能なる士君子」を体得し、将来世界で活躍することを心から祈念します。